

## 平成24年度採択プログラム 事後評価調書(案)

## 博士課程教育リーディングプログラム プログラムの概要 [公表。ただし、項目13については非公表]

機関名		整理番号						
1. 全体責任者  (学長)	※共同実施のプログラムの場合は、全ての構成大学の学長について記入し、取りまとめを行っている大学(連合大学院によるもの場合は基幹大学)の学長名に下線を引いてください。  (ふりがな) 氏名・職名							
2. プログラム責任者	(ふりがな) 氏名・職名							
3. プログラム コーディネーター	(ふりがな) 氏名・職名							
4. 類型								
5.	プログラム名称							
	英語名称							
	副題							
6. 授与する博士 学位分野・名称								
7. 主要分科	(① ) (② ) (③ )		※ 複合領域型は太枠に主要な分科を記入					
8. 主要細目	(① ) (② ) (③ )		※ オンリーワン型は太枠に主要な細目を記入					
9. 専攻等名 (主たる専攻等がある場合は下線を引いてください。)								
10. 共同教育課程を設置している場合の共同実施機関名								
11. 連合大学院として参画している場合の共同実施機関名								
12. 連携先機関名(他の大学等と連携した取組の場合の機関名、研究科専攻等名)								
13. 経費(単位:千円)千円未満は切り捨てる (※平成24~28年度は確定額、平成29年度は交付決定額、平成30年度は交付申請額) ※共同実施の場合、( )内に共同実施機関で使用する金額、<>内に申請金額全体に占める割合(%)をそれぞれ記入してください。								
年度(平成)	24	25	26	27	28	29	30	合計
金額(千円) (%)	( ) < >	( ) < >	( ) < >	( ) < >	( ) < >	( ) < >	( ) < >	0 (0 ) >

(機関名: 類型: プログラム名称: )

14. プログラム担当者の構成 計 名							
外国人の人数	人	[	%]	女性の人数	人	[	%]
プログラム実施大学に属する者の割合	[	%]					
プログラム実施大学に属する者	人			プログラム実施大学以外に属する者	人		
そのうち、他大学等を経験したことのある者	人			そのうち、大学等以外に属する者	人		

15. プログラム担当者					
氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門 学位	役割分担 (平成30年度における役割)
(プログラム責任者)					
(プログラムコーディネーター)					

16. プログラムの応募学生数、合格者数及び履修生数

本プログラムの過去のリーディングプログラム応募学生数等について記入してください。

(各年度3月31日現在(ただし平成30年度は提出日現在))

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 *(今後の募集予定: 有・無)
プログラム募集定員数							
① 応募 学生 数	うち留学生数						
	うち自大学出身者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	うち他大学出身者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	うち社会人学生数	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	うち女性数	( )	( )	( )	( )	( )	( )
② 合格 者数	うち留学生数						
	うち自大学出身者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	うち他大学出身者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	うち社会人学生数	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	うち女性数	( )	( )	( )	( )	( )	( )
③ ②の うち 履修 生数	うち留学生数						
	うち自大学出身者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	うち他大学出身者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	うち社会人学生数	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	うち女性数	( )	( )	( )	( )	( )	( )
プログラム合格倍率 (応募学生数/合格者数) (小数点第三位を四捨五入)	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍
充足率 (合格者数/募集定員)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

【備考】

※留学生については、「うち留学生数」にカウントするとともに、うち自大学出身者数、うち他大学出身者数、うち社会人学生数、うち女性数の( )に内数を記入してください。  
 ※平成30年度\*(今後の募集予定:有・無)については、平成30年度内に履修を開始する学生を募集予定の場合(秋入学等)は「有」に、募集予定がない場合は「無」に印を付けてください。  
 また、有の場合は、プログラム募集定員数欄には募集予定人数を含めず、下記備考欄へ募集時期とともに記入してください。  
 ※編入学生がいる場合は、年度ごとの内訳を備考欄に記入してください。





18. プログラムの履修生内訳

①各参画専攻における、過去のプログラムへの応募者数・入学者数及び、専攻の課程区別の定員・志願者数・入学者数

※採択時点以降に新たに参画した研究科・専攻や創設された研究科・専攻については備考欄に参画・創設した年度を記入願います。

※学内の他のリーディングプログラム(採択年度は問いません)にも参画している研究科・専攻については、備考欄に該当のプログラム名を記入願います。

(※行が足りない場合は適宜追加してください。)(各年度3月31日現在(ただし平成30年度は提出日現在))

研究科・専攻名	年度	プログラム履修生 (編入は含まない)		課程区分(プログラム履修生を含む)						備考(編入等)	
		応募者数	入学者数	入学定員	専攻A			専攻B			
					応募者数	入学者数	入学定員	応募者数	入学者数		入学定員
	H23	/	/								
	H24										
	H25										
	H26										
	H27										
	H28										
	H29										
	H30										
	H23	/	/								
	H24										
	H25										
	H26										
	H27										
	H28										
	H29										
	H30										
	H23	/	/								
	H24										
	H25										
	H26										
	H27										
	H28										
	H29										
	H30										

18. プログラムの履修生内訳

②各参画専攻の学生及びプログラム履修生についての、学生総数、留学生数、他大学出身者数、女性数

※区分制の場合は修士課程・博士前期課程から入学して博士課程・博士後期課程に進学した場合には、両方の課程区分でカウントしてください。

また、プログラムが一貫制で、プログラム以外が区分制を取っている場合には、便宜上、課程区分としてはプログラム以外に合わせ、区分制に置き換えて、前述と同様に計上してください。

(本欄は各課程区分におけるプログラムと全体の比較の項目のため、便宜上条件を統一するものです。)

(※行が足りない場合は適宜追加してください。)

<課程区分: >

研究科・専攻名	プログラム履修生数				在籍学生数(プログラム履修生を含む)			
	総数	うち留学生数	うち他大学出身者数	うち女性数	総数	うち留学生数	うち他大学出身者数	うち女性数
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

<課程区分: >

研究科・専攻名	プログラム履修生数				在籍学生数(プログラム履修生を含む)			
	総数	うち留学生数	うち他大学出身者数	うち女性数	総数	うち留学生数	うち他大学出身者数	うち女性数
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

19. 修了者の進路の状況

①プログラム修了者の就職状況及び主たる勤務地

※文部科学省の実施している実施状況調査の様式より一部抜粋しています。  
 ※学生の所属機関が複数にまたがる場合には、本頁を機関毎に作成してください。

<就職状況>

プログラム修了年度		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度	
※共同申請の場合は、ここに大学名を記入		合計	うち、留学生	合計	うち、留学生	合計	うち、留学生	合計	うち、留学生
任期・雇用期間の定めなし	①大学教員	0	0	0	0	0	0	0	0
	②高等学校教員	0	0	0	0	0	0	0	0
	③教員（その他）	0	0	0	0	0	0	0	0
	④民間企業等への就職（研究者・技術者として）	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤民間企業等への就職（研究者・技術者以外）	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑥公的研究機関等への就職	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑦官公庁等への就職	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑧医師等	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑨起業	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑩その他	0	0	0	0	0	0	0	0
任期・雇用期間の定めあり	①' 大学教員	文部科学省実施の「実施状況調査」の様式変更と同じ形式とする(現在内容を調整中)。							
	②' 高等学校教員								
	③' 教員（その他）								
	④' 民間企業等への就職（研究者・技術者として）	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤' 民間企業等への就職（研究者・技術者以外）	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑥' 公的研究機関等への就職	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑦' 官公庁等への就職	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑧' 医師等	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑨' その他	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪進学者	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑫社会人入学者（現職継続）	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑬臨床研修医（予定者を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑭専修学校・外国語の学校等入学者	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑮一時的な仕事に就いた者	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑯ポストク（給与あり）	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑰日本学術振興会特別研究員（PD・SPD）	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑱ポストク（給与なし）	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑲上記以外の者	0	0	0	0	0	0	0	0	

<主たる勤務地>

プログラム修了年度		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度	
※共同申請の場合は、ここに大学名を記入		合計	うち、留学生	合計	うち、留学生	合計	うち、留学生	合計	うち、留学生
①日本国内		0	0	0	0	0	0	0	0
②海外（出身国）		0	0	0	0	0	0	0	0
③海外（出身国以外）		0	0	0	0	0	0	0	0



19. 修了者の進路の状況

②平成26～29年度プログラム修了者の就職先

※文部科学省の実施している実施状況調査の様式より抜粋しています。  
 ※本調査票項目について、個人や大学が特定されるような形で、結果の公表を行うことはありません。  
 ※H26～28年度末修了者のうち昨年度調査から就職状況が変わった方に関しては、1つ前の就職状況についても記入してください。

注) 行が不足する場合は、行をコピーして追加してください。  
 注) 社会人の場合は、備考欄に在籍企業等を記入してください。  
 \*1「就職状況」欄が④⑤の場合で、「就職、起業等した者の所属機関名称」欄を英語で記入した場合には、末尾に「(大学)」「(公的研究機関)」等と所属機関の種類も併せて記入してください。  
 \*2「産業別分類」欄は、「就職状況」欄が④⑤④'⑤'の場合に記入してください。分類は学校基本調査の「卒業後の状況調査票(2-2)」に準じて記入してください。

入学年度	修了年度	所属研究科	所属専攻	性別	授与された学位の名称	入学から修了(学位授与)までの所要修業年数	留学生	他大学出身	社会人	現在の就職状況 その他を選択した場合、備考に詳細を必ず記載する。	就職、起業等した者の所属機関の名称 *1	産業別分類 *2	主たる勤務地	リーディングプログラムにおけるインターンシップ・研修・共同研究先が否か	【プログラム修了後、就職先に変更のあった方のみ】 現在の就職先の1つ前の就職状況について記入願います。						備考
															現在の就職状況に至った年度	就職状況	就職、起業等した者の所属機関の名称 *1	産業別分類 *2	主たる勤務地	リーディングプログラムにおけるインターンシップ・研修・共同研究先が否か	
1																					
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					
16																					
17																					
18																					
19																					
20																					

文部科学省実施の「実施状況調査」の様式変更と同じ形式とする(現在内容を調整中)。

## 20. プログラムの実績(プログラムにおける特筆すべき成果)

受賞成績や顕著な研究業績など、プログラム履修生び修了者の活躍に関する成果を中心に記入してください。(\*必須項目)

※平成28年度実施状況報告書の様式より抜粋していますが、平成24年度以降の実績についても新たに追記し、日付順に記入してください。

No	分類*	日付*	成果				公開の可否*
			概要*	詳細*	受賞者(団体)・著者 等*	参考URL	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

注： 分類は①省庁・企業等主催イベントでの受賞等、②個人の業績の受賞、学会等での受賞、③知的財産等取得、④起業、⑤社会的活動、学生自主企画、⑥その他 から選択してください。

注： 本欄に記入された内容は、貴プログラムのフォローアップにおいて使用するほか、成果の発信や各種会議や日本学術振興会のウェブサイトの掲載等のために使用することがあります。公開を希望しないものについては、「公開の可否」のプルダウンリストより「否」を選択してください。また、個人が特定されない形であれば公開しても差し支えないというものについては、プルダウンリストより「個人が特定されない形であれば可」を選択してください。

21. プログラムの実績(修了者のプログラムによる博士論文研究課題の変化)

修了者について、修士課程(博士前期課程)2年次及び一貫制2年次又は4年制2年次における研究課題研究課題と博士論文研究における研究課題を記入してください。

No	入学年度	修了年度	所属研究科	所属専攻	性別	授与された学位の名称(博士)	入学から修了(学位授与)までの所要修業年数	留学生	他大学出身	社会人	学位論文等の題目	
											修士課程2年次及び一貫制2年次又は4年制2年次における研究課題	博士論文研究における研究課題
記入例	H24	H28	〇〇〇〇	〇〇〇〇	男	〇〇	5	〇	〇		〇〇〇〇〇〇〇〇について (修士論文を実施していない場合には、取り組んだ研究課題名を記入してください。)	△△△△△△△について
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												

新規追加項目

リーダーを養成するプログラムの概要、特色、優位性

(広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダー養成の観点から、本プログラムの概要、特色、優位性を記入してください。)

## プログラムの概念図

(優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーとして養成する観点から、コースワークや研究室ローテーションなどから研究指導、学位授与に至るプロセスや、産学官等の連携による実践性、国際性ある研究訓練やキャリアパス支援、国内外の優秀な学生を獲得し切磋琢磨させる仕組み、質保証システムなどについて、プログラムの全体像と特徴が分かるようにイメージ図を書いてください。なお、共同実施機関及び連携先機関があるものについては、それらも含めて記入してください。)

プログラムの成果

(優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーとして養成するという観点に照らし、学生や修了者の活躍状況を含め、アピールできる成果について記入してください。)

プログラムの成果

(大学院改革につながる教育研究組織の再編等の学内外への波及効果や課題の発見について記入してください。)

平成24年度採択プログラム 事後評価調書

## 博士課程教育リーディングプログラム 事後評価調書

## I. リーダーを養成するための学位プログラム、体制等の構築

1. 優秀な学生をグローバルに活躍するリーダーへと導く一貫した学位プログラムが構築され、コースワーク等による広範かつ体系的な教育研究指導が行われたか（プログラムの最終形態の確認）  
（産業界等外部の意見をどのように取り入れたかという観点も含め具体的に記入してください。）

2. 国内外の多様なセクターからの第一級の教員、メンターやTAの活用をはじめとする組織的な指導体制や、留学生・教員との関わり及び外国語の使用等によるグローバルな教育研究・生活環境が構築されたか（指導体制等の構築）  
（組織的な指導体制については、学生1人当たりの指導教員数（プログラム担当者）、産業界経験のあるプログラム担当者数も含め具体的に記入してください。）



3. プログラム担当者、それ以外の学生の指導教員等の学内関係者のみならず、大学全体として改革理念を共有し共通理解をもって改革を推進・協力しているか（改革意識の共有）

4. 学生選抜、Qualifying Examination、開かれた学位審査体制など、グローバルに活躍するリーダーとなるに相応しい資質能力を保証するシステムが構築されたか（学位の質保証）  
（プログラム修了により授与する博士の学位の分野・名称及び本プログラムの修了要件についても記入してください。学位については、プログラムが独自に学位を出せる仕組みとなっているか、大学院設置基準第16条の2に定める博士論文研究基礎力審査を導入しているかという点も含め具体的に記入してください。）

5. 外部評価により採択プログラムの検証・改善が図られ、設定した数値目標が達成されたか（PDCAサイクルの構築）

①申請時当初の目的をどの程度達成したのかについて、定量的な指標を活用するなどして具体的に記入してください。なお、自己評価を実施し検証したのかについても記入してください。

②大学による外部評価を実施している場合、これまでの実施概要及び評価を受けて改善した事項について記入してください。

**II. 修了者の成長とキャリアパスの構築**

1. 修了者がプログラムを通じ、俯瞰力や独創力等の汎用力を向上することができ、プログラムを履修したことに満足しているか（汎用力の育成）

（プログラム申請時に掲げた学生が修得すべき能力についていかなる指標を持って測り、学生を育成したのか、その結果として修了者がどの程度満足しているのか、という観点から具体的に記入してください。なお、修了者の博士論文にプログラムがどのように生かされたのかについても、具体的な題目の事例を挙げるなどして記載してください。）

2. 修了者が、プログラムを通じ、分野や立場を超えた多様な人的ネットワークを構築することができたか（ネットワークの構築）

3. 修了者が、産学官民等の各界のリーダーとしてグローバルに活躍するキャリアパスにつながる就職や起業等の実績を上げているか（就職、キャリアパスの実績）

（修了者のキャリアパスの多様性について、プログラム開始前と比較した目標（特にアカデミア以外にどの程度輩出しているか）を含めて記入してください。）

4. 修了者の社会での活躍状況を長期にわたり把握する仕組みが構築されたか（把握手法の構築）

## 5. プログラムにおける教育活動の状況

本プログラムの教育活動について記入してください。(中間評価調書・実施状況調査において共通項目があれば齟齬のないよう記載してください。)

(各年度3月31日現在)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
(1) 主専攻以外の分野の授業等の履修科目数 (1人当たり)	科目	科目	科目
(2) PBL など課題解決型学習を取り入れた授業科目数	科目	科目	科目
(3) ①研究室ローテーション ※名称不問(参加した学生の数)	人	人	人
②研究室ローテーション ※名称不問(回った研究室の数/1人当たり)	研究室	研究室	研究室
(4) 企業へのインターンシップ派遣学生数(国内) (うち1ヶ月以上のインターンシップ派遣学生数)	人 (人)	人 (人)	人 (人)
(5) 企業へのインターンシップ派遣学生数(海外) (うち1ヶ月以上のインターンシップ派遣学生数)	人 (人)	人 (人)	人 (人)
(6) 官公庁へのインターンシップ派遣学生数 (うち1ヶ月以上のインターンシップ派遣学生数)	人 (人)	人 (人)	人 (人)
(7) NPO等へのインターンシップ派遣学生数 (うち1ヶ月以上のインターンシップ派遣学生数)	人 (人)	人 (人)	人 (人)
(8) 国際機関等へのインターンシップ派遣学生数 (うち1ヶ月以上のインターンシップ派遣学生数)	人 (人)	人 (人)	人 (人)
(9) 海外大学等への派遣学生数 (うち3ヶ月以上の派遣学生数)	人 (人)	人 (人)	人 (人)
(10) プログラムに参画する企業数 (うち、国外の企業数)	件 (件)	件 (件)	件 (件)
(11) プログラムに参画する官公庁数	件	件	件
(12) プログラムに参画するNPO等数	件	件	件
(13) プログラムに参画する国際機関数	件	件	件
(14) 学生の学会発表数 (うち、国際学会での発表数)	件 (件)	件 (件)	件 (件)
(15) 学生の論文発表数 (うち、レフェリー付き論文発表数) (うち、外国語で作成した論文の発表数)	件 (件) (件)	件 (件) (件)	件 (件) (件)
(16) 共同研究の実施件数(大学・研究機関) (うち、国外大学・研究機関との共同研究実施件数)	件 (件)	件 (件)	件 (件)
(17) 共同研究の実施件数(企業) (うち、国外企業との共同研究実施件数)	件 (件)	件 (件)	件 (件)
(18) 共同研究の実施件数(国際機関等)	件	件	件
(19) 学外での研究発表による受賞件数(国内)	件	件	件
(20) 学外での研究発表による受賞件数(国外)	件	件	件
(21) アイデアコンペ・ハッカソン等による受賞件数	件	件	件

(機関名: 類型: プログラム名称: )

(備考)

- ※(3)②研究室ローテーションは、一人あたりの平均件数を記入してください。また、学生自身の所属研究室については件数に含めないでください。
- ※(9)「海外大学等への派遣学生数」については、本プログラムにおいて、海外大学や研究所等に派遣した学生数を記入してください。
- ※(16)「共同研究の実施件数(大学・研究機関)」については、本プログラムにおける大学・研究機関との共同研究実施件数を記入してください。
- ※(17)「共同研究の実施件数(企業)」については、本プログラムにおける企業等との共同研究実施件数を記入してください。
- ※(18)「共同研究の実施件数(国際機関等)」については、本プログラムにおける国際機関等との共同研究実施件数を記入してください。
- ※(21)「アイデアコンペ・ハッカソン等による受賞件数」については、国内・国外を問いません。

6. 参画研究科・専攻における教育研究活動等の状況

平成 23 年度については採択前の、平成 24 年度以降についてはその時点の研究科・専攻の状況を記入し、新たな研究科・専攻を創設した場合には、その年度以降の状況を記入してください。(※関連専攻が多く様式が足りない場合は、適宜行を追加してください。)

①留学生の受入、日本人学生の派遣実績(海外インターンシップ(1か月以上)、海外大学等への派遣(3か月以上))  
本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の各課程における平成 23 年度～29 年度の留学生受入、日本人学生派遣の実績(括弧内は延べ回数とし、1人が複数回行った場合はその回数をすべて合計)を記入してください。

※平成 23 年度の状況については、申請時の計画調書の値を記入してください。

<留学生受入人数>

括弧内は延べ回数とし、1人が複数回行った場合にはその回数の合計を記入してください。

研究科・専攻名	課程区分	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

<日本人学生派遣人数(及びその割合)>

上段は海外インターンシップ(1か月以上)について、下段は海外大学等への派遣(3か月以上)について、括弧外には派遣人数(1人が複数回行った場合には1回とする。)を、括弧内にはその割合を記入してください。

研究科・専攻名	課程区分	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

②学生の学会発表、学術雑誌等への論文発表数

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の各課程における平成 23 年度～平成 29 年度の学生による学会発表数・レフェリー付論文数について記入してください。

※学会発表数の( )内には、うち国際学会で行われたものを記入してください。

※論文発表数は、学生がレフェリー付学術雑誌に代表又はファーストオーサーとして(印刷済み及び採録決定済みのものに限る。査読中・投稿中のものは除く。)発表した論文数を記入してください。また、論文発表数の( )内には、うち国際ジャーナルにて発表外国語で作成した論文数を記入してください。

<学会発表数>

研究科・専攻名	課程区分	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

<レフェリー付論文発表数>

研究科・専攻名	課程区分	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

## ③学生が主体となって計画したセミナー・シンポジウムの実施件数・複数研究科にまたがる研究発表の回数

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の各課程における平成23年度～29年度の

- ・学生が主体となって計画したセミナー・シンポジウムの実施件数
- ・複数研究科にまたがる研究発表の回数

について記入してください。

※平成24年度～29年度の( )内には、リーディングプログラム学生が計画したセミナー・シンポジウムの実施件数／リーディングプログラムの中で企画された研究発表の回数を記入してください。

## &lt;学生が主体となって計画したセミナー・シンポジウムの実施件数&gt;

研究科・専攻名	課程区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )

## &lt;複数研究科にまたがる研究発表の回数&gt;

研究科・専攻名	課程区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )

## ④学生が在学中に起業した件数

平成23年度～29年度において、本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の各課程に在籍していた学生が在学中に起業した件数を記入してください。

※平成24年度～29年度の( )内には、リーディングプログラム学生が起業した件数を記入してください。

研究科・専攻名	課程区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )

※関連専攻が多く様式が足りない場合は、適宜行を追加してください。



**Ⅲ. 事業の定着・発展**

1. 支援期間終了後の大学又は当該研究科の組織・機構図を示してください。

## 2. ①学位プログラムの定着・発展について（定着・発展のための取組状況）

支援期間終了後も学位プログラムの定着・発展に向けて、計画に沿った教育研究組織の再編、テニユア教員のポストの配置計画、学位審査体制の整備、学内の資金再配分計画やFD・SDの実施、教育実績の重視など教職員の評価基準の見直し等について具体的な取組が実施され、十分継続できるか。

## 2. ②経済的支援等について（定着・発展のための取組状況）

学生が学修研究に専念できる経済的支援の定着や新しい専攻や研究科の創設など計画を上回る教育研究組織の再編等に意欲的に取り組んだか。

3. プログラムがどのように組織・機構・課程等として継承されるのか、また、継承される事業（課程）における学生定員や奨学金・研究費の補助についてどのように計画しているか。（プログラムで特任教員を雇用している場合、特任教員の身分や雇用に関して、継承される組織・機構、あるいは課程においてその後の雇用があるのかについても具体的な計画を示してください。）

4. 産学官民等の各界の連携先機関との間で、支援期間終了後の連携の在り方等について方針が定められたか。（外部連携の継続性）

5. 学長を中心とした責任あるマネジメント体制が構築され、学長のリーダーシップの下に採択プログラムに参画していない研究科や専攻への学位プログラムの導入など大学院全体として教育改革が進められたか（マネジメント、波及効果）

（大学院全体の教育改革への波及効果について、課題の発見があったかについても記入してください。）

#### IV. 中間評価結果の留意事項・フォローアップの指摘事項への対応

中間評価結果の留意事項及びその後のフォローアップの指摘事項への適切な対応について

- ・ 中間評価結果の留意事項について適切な対応がなされているか
- ・ 現地視察報告書の意見について適切な対応がなされているか
- ・ POフォローアップ報告書の課題・意見等について大学として対応がなされているか

について、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。

中間評価結果の留意事項	対応

平成 28 年度実施現地視察報告書の意見	対応

平成 28 年度 P0 フォローアップ報告書の 課題・意見等	対応

平成24年度採択プログラム 事後評価調書  
博士課程教育リーディングプログラム 経費関係調書

<p>&lt;平成24年度&gt;</p> <p>年度の事業実施内容</p> <p>※ 当該年度に本補助金を充当して実施した事業の具体的内容について記入してください。</p> <p>(補助金は適切かつ効果的に使用されたか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記入すること。</p>
---

経費の明細

・内訳として、共同実施機関で使用した経費も記入してください。  
 ・平成24年度は10月～3月の半年分の経費について記入してください。

記入例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円  
 資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円

<平成24年度実績>		経費区分等	補助事業に要した補助対象経費の額等(円)		備考	
				うち、共同実施機関での使用金額		
支出	物品費	設備備品費				
		小計				
		消耗品費				
		小計				
			計			
	人件費・謝金	人件費				
		小計				
		謝金				
			計			
	旅費	旅費(うち国内旅費)				
		小計				
		旅費(うち外国旅費)				
		小計				
			計			
	その他	奨励金				
		小計				
		外注費				
		小計				
		印刷製本費				
		小計				
会議費						
小計						
通信運搬費						
小計						
光熱水料						
小計						
その他(諸経費)						
小計						
		計				
合計					(A)	
自己負担額		文部科学省から交付される国庫補助金以外に大学の自己収入や寄附金といった用途の特定されない経費			(A')	
支出実績額					(B) =(A)-(A')	
収入	交付決定額				(C)	
	預金利息				(D)	
	自己収入				(E)	
	合計				(F) =(C)+(D)+(E)	
確定額					(H) =(F)-(B)	
返還額					(I) =[(C)+(D)]-(H)	

実績報告書と同様の形式となるように一部変更



&lt;平成25年度&gt;

## 年度の事業実施内容

※ 当該年度に本補助金を充当して実施した事業の具体的内容について記入してください。

(補助金は適切かつ効果的に使用されたか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記入すること。

**経費の明細**

・内訳として、共同実施機関で使用した経費も記入してください。

〔 記入例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円  
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<平成25年度実績>		経費区分等	補助事業に要した補助対象経費の額等(円)		備考
				うち、共同実施機関での使用金額	
支出	物品費	設備備品費			
		小計			
		消耗品費			
		小計			
	計				
	人件費・謝金	人件費			
		小計			
		謝金			
		小計			
	計				
	旅費	旅費(うち国内旅費)			
		小計			
		旅費(うち外国旅費)			
		小計			
		旅費(うち外国人招聘旅費)			
		小計			
	計				
	その他	奨励金			
		小計			
		外注費			
小計					
印刷製本費					
小計					
会議費					
小計					
通信運搬費					
小計					
光熱水料					
小計					
その他(諸経費)					
小計					
計					
合計				(A)	
自己負担額		〔 文部科学省から交付される国庫補助金以外に大学の自己収入や寄附金といった用途の特定されない経費 〕		(A')	
支出実績額				(B) =(A)-(A')	
収入	交付決定額			(C)	
	預金利息			(D)	
	自己収入			(E)	
	合計			(F) =(C)+(D)+(E)	
	確定額			(H) =(F)-(B)	
返還額			(I) =[(C)+(D)]-(H)		

&lt;平成26年度&gt;

## 年度の事業実施内容

※ 当該年度に本補助金を充当して実施した事業の具体的内容について記入してください。

(補助金は適切かつ効果的に使用されたか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記入すること。

**経費の明細**

・内訳として、共同実施機関で使用した経費も記入してください。

〔 記入例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円  
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<平成26年度実績>		経費区分等	補助事業に要した補助対象経費の額等(円)		備考	
				うち、共同実施機関での使用金額		
支出	物品費	設備備品費				
		小計				
		消耗品費				
		小計				
			計			
	人件費・謝金	人件費				
		小計				
		謝金				
		小計				
			計			
	旅費	旅費(うち国内旅費)				
		小計				
		旅費(うち外国旅費)				
		小計				
		旅費(うち外国人招聘旅費)				
		小計				
			計			
	その他	奨励金				
		小計				
		外注費				
小計						
印刷製本費						
小計						
会議費						
小計						
通信運搬費						
小計						
光熱水料						
小計						
その他(諸経費)						
小計						
		計				
合計					(A)	
自己負担額		〔 文部科学省から交付される国庫補助金以外に大学の自己収入や寄附金といった用途の特定されない経費 〕			(A')	
支出実績額					(B) =(A)-(A')	
収入	交付決定額				(C)	
	預金利息				(D)	
	自己収入				(E)	
	合計				(F) =(C)+(D)+(E)	
	確定額				(H) =(F)-(B)	
返還額				(I) =[(C)+(D)]-(H)		

&lt;平成27年度&gt;

## 年度の事業実施内容

※ 当該年度に本補助金を充当して実施した事業の具体的内容について記入してください。

(補助金は適切かつ効果的に使用されたか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記入すること。

**経費の明細**

・内訳として、共同実施機関で使用した経費も記入してください。

〔 記入例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円  
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<平成27年度実績>		経費区分等	補助事業に要した補助対象経費の額等(円)		備考	
				うち、共同実施機関での使用金額		
支出	物品費	設備備品費				
		小計				
		消耗品費				
		小計				
			計			
	人件費・謝金	人件費				
		小計				
		謝金				
		小計				
			計			
	旅費	旅費(うち国内旅費)				
		小計				
		旅費(うち外国旅費)				
		小計				
		旅費(うち外国人招聘旅費)				
		小計				
			計			
	その他	奨励金				
		小計				
		外注費				
小計						
印刷製本費						
小計						
会議費						
小計						
通信運搬費						
小計						
光熱水料						
小計						
その他(諸経費)						
小計						
		計				
合計					(A)	
自己負担額		〔 文部科学省から交付される国庫補助金以外に大学の自己収入や寄附金といった用途の特定されない経費 〕			(A')	
支出実績額					(B) =(A)-(A')	
収入	交付決定額				(C)	
	預金利息				(D)	
	自己収入				(E)	
	合計				(F) =(C)+(D)+(E)	
	確定額				(H) =(F)-(B)	
返還額				(I) =[(C)+(D)]-(H)		

&lt;平成28年度&gt;

## 年度の事業実施内容

※ 当該年度に本補助金を充当して実施した事業の具体的内容について記入してください。

(補助金は適切かつ効果的に使用されたか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記入すること。

**経費の明細**

・内訳として、共同実施機関で使用した経費も記入してください。

〔 記入例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円  
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<平成28年度実績>		経費区分等	補助事業に要した 補助対象経費 の額等(円)		備考
				うち、共同実施機関 での使用金額	
支 出	物 品 費	設備備品費			
		小計			
		消耗品費			
		小計			
	計				
	人 件 費 ・ 謝 金	人 件 費			
		小計			
		謝 金			
		小計			
	計				
	旅 費	旅 費 (うち国内旅費)			
		小計			
		旅 費 (うち外国旅費)			
		小計			
	計				
	そ の 他	奨 励 金			
		小計			
		外 注 費			
		小計			
		印刷製本費			
小計					
会 議 費					
小計					
通信運搬費					
小計					
光熱水料					
小計					
その他 (諸経費)					
小計					
計					
合 計					(A)
自 己 負 担 額		〔 文部科学省から交付される国庫補助 金以外に大学の自己収入や寄附金 といった用途の特定されない経費 〕			(A')
支 出 実 績 額					(B) = (A) - (A')
収 入	交 付 決 定 額				(C)
	預 金 利 息				(D)
	自 己 収 入				(E)
	合 計				(F) = (C) + (D) + (E)
	確 定 額				(H) = (F) - (B)
返 還 額				(I) = [(C) + (D)] - (H)	



&lt;平成29年度&gt;

## 年度の事業実施内容

※ 当該年度に本補助金を充当して実施した事業の具体的内容について記入してください。

(補助金は適切かつ効果的に使用されたか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記入すること。

**経費の明細**

・内訳として、共同実施機関で使用した経費も記入してください。

〔 記入例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円  
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<平成29年度実績>		経費区分等	補助事業に要した補助対象経費の額等(円)		備考	
				うち、共同実施機関での使用金額		
支出	物品費	設備備品費				
		小計				
		消耗品費				
		小計				
			計			
	人件費・謝金	人件費				
		小計				
		謝金				
		小計				
			計			
	旅費	旅費(うち国内旅費)				
		小計				
		旅費(うち外国旅費)				
		小計				
		旅費(うち外国人招聘旅費)				
		小計				
			計			
	その他	奨励金				
		小計				
		外注費				
小計						
印刷製本費						
小計						
会議費						
小計						
通信運搬費						
小計						
光熱水料						
小計						
その他(諸経費)						
小計						
		計				
合計					(A)	
自己負担額		〔 文部科学省から交付される国庫補助金以外に大学の自己収入や寄附金といった用途の特定されない経費 〕			(A')	
支出実績額					(B) =(A)-(A')	
収入	交付決定額				(C)	
	預金利息				(D)	
	自己収入				(E)	
	合計				(F) =(C)+(D)+(E)	
	確定額				(H) =(F)-(B)	
返還額				(I) =[(C)+(D)]-(H)		

&lt;平成30年度&gt;

## 年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記入してください。

(補助金は適切かつ効果的に使用することが計画されているか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記入すること。)

**経費の明細**

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・用途は博士課程教育リーディングプログラムの目的に限定されます。
- ・内訳として、共同実施機関で使用する経費を記入してください。

記入例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円  
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円

<平成30年度計画>		経費区分等	補助事業に要した補助対象経費の額等(円)		備考	
				うち、共同実施機関での使用金額		
交付申請額	物品費	設備備品費				
		小計				
		消耗品費				
		小計				
			計			
	人件費・謝金	人件費				
		小計				
		謝金				
		小計				
			計			
	旅費	旅費(うち国内旅費)				
		小計				
		旅費(うち外国旅費)				
		小計				
		旅費(うち外国人招聘旅費)				
		小計				
			計			
	その他	奨励金				
		小計				
		外注費				
小計						
印刷製本費						
小計						
会議費						
小計						
通信運搬費						
小計						
光熱水料						
小計						
その他(諸経費)						
小計						
		計				
		合計				